



世代をこえて、広がる感動。東京から発信する伝統文化。

東京発・伝統WA感動

TOKYO TRADITIONAL ARTS PROGRAM

PRESS RELEASE

平成 25 年 4 月 16 日

「東京発・伝統WA感動」は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開する「東京文化発信プロジェクト」の一環として、世界に誇るべき日本の伝統芸能・文化を国内外へ広く発信するとともに、その根底にある「和の心」を次世代に継承していくことを目的として実施してまいりました。

◇ 開催概要

今年度も一年を通じ、世代をこえて多くの方々にご参加いただけるよう、大きく3つの構成で実施いたします。

- ① 「キッズ伝統芸能体験」は、子供たちが7か月間にわたって、一流の芸術家から能楽や日本舞踊などの伝統芸能を学び、ひのき舞台上で発表する本格的な体験プログラムです。
- ② 「伝統芸能公演」では、能楽、邦楽、日本舞踊、寄席芸、民俗芸能などを広く取り上げ、一流の実演家による公演を開催するほか、現代に通じる新しさを実演やトークなどを交えて再発見していきます。

また、5年目にあたる今年度は、「参加し体験する伝統芸能」をアピールし、伝統芸能にあまり馴染みのなかった層へアプローチするための初心者向けワークショップ企画を募集します。事業者様からの意欲的な応募をお待ちしております。

- ③ 「東京大茶会 2013」では、都内2か所の会場で大規模な茶会を催し、和の心・茶の心を都民はじめ、東京を訪れる外国人や多くの方にも楽しんでいただきます。

【主催】

東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京発・伝統WA感動実行委員会

※東京発・伝統WA感動実行委員会構成団体

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本芸術文化振興会、NHKエンタープライズ

<開催に関するお問い合わせ・取材のお申し込み>

東京発・伝統WA感動実行委員会事務局 田中・駒谷まで

〒150-0047 東京都渋谷区神山町5番20号 神山町小川ビル3階

Tel : 03-3467-5421 (平日 10時~18時) Fax : 03-3467-5422 E-mail : info@dento-wa.jp

「東京発・伝統WA感動」ホームページ : <http://www.dento-wa.jp>

<「キッズ伝統芸能体験」に関するお問い合わせ先>

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会「キッズ伝統芸能体験」事務局 Tel : 03-5909-3060 (平日 10時~18時)

< 東京文化発信プロジェクトとは >

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。 www.bh-project.jp

◇ 開催概要

東京発・伝統 WA 感動

① キッズ伝統芸能体験

- ★参加者募集期間 平成 25 年 6 月 1 日(土)から 7 月 16 日(火)
- ★お試し体験・見学会 平成 25 年 7 月 6 日(土)、7 日(日)／芸能花伝舎
- ★開講式 平成 25 年 8 月 25 日(日)／国立能楽堂
- ★能楽発表会 平成 26 年 3 月 21 日(金・祝) [予定]／宝生能楽堂
- ★日本舞踊・三曲・長唄発表会 平成 26 年 3 月 27 日(木)、28 日(金) [予定]／浅草公会堂

伝統芸能の一流の芸術家が伝統芸能のお稽古にふさわしい場所で、子供たちに直接指導。定期的にお稽古を重ねることで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を自然に身につけられるような学びの場をつくります。その成果を舞台上で発表する機会を提供することによって、目的意識をもって学ぶ大切さを知るためのプログラムです。

② 伝統芸能公演

○主催公演

1、音の息吹き

平成 25 年 10 月 5 日(土)／東京文化会館大ホール
伶楽舎、藤田六郎兵衛、川瀬順輔、藤舎名生、三橋貴風／森山開次、平山素子 ほか

笙(しょう)、箏(ひちりき)、龍笛(りゅうてき)、能管、尺八、篠笛——様々なシーンで活躍する伝統的な吹奏楽器に焦点をあてます。古典と現代曲を交えた構成と、ソロから大合奏、コンテンポラリーダンスとの共演まで、多様な編成により、吹く“イキ”が織り成す繊細かつ豪快な音色と、“音の息吹き”がもつ可能性をお楽しみいただきます。

2、大江戸寄席と花街のおどり その三—お座敷遊び(仮)—

平成 25 年 9 月 16 日(月・祝)／有楽町朝日ホール
踊り：新橋、赤坂、浅草三花街の芸者衆 落語：春風亭一之輔、林家正蔵、柳亭市馬

今年度は新橋、赤坂、浅草の芸者衆が協力して、史上初の三花街合同の舞台を披露します。落語家の柳亭市馬が芸者衆の演奏に合わせて唄う特別な演出もあり、フィナーレは昨年引き続き林家正蔵のリードで客席も唄に参加し、舞台との一体感を味わっていただきます。

3、邦楽へのいざない—古典文学の情景—

平成 25 年 11 月 1 日(金)／文京シビックホール小ホール
(出演者未定)

<古典の日>を記念した、日本の伝統音楽“邦楽”の魅力にふれる演奏会。膨大なレパートリーの中から古典文学にちなむ曲を上演し、唄、語り、三味線、箏、囃子など多彩な響きにより、邦楽の醍醐味をご堪能いただきます。

4、和の魅力発見シリーズ Traditional + (トラディショナル プラス)

【vol.4】現代に生きる日本の伝統楽器(仮)

平成 25 年 12 月 8 日(日)／スパイラルホール
藤原道山、一ノ瀬響 ほか

伝統芸能の現代に通じる魅力を、実演やトークなどで再発見するシリーズ「Traditional+」。昨年の「【vol.1】現代に生きる日本の伝統楽器」で取り上げなかった「笛」をテーマに、尺八を扱います。管に息を吹きこむだけの楽器が、そのシンプルさゆえにどういう特徴、可能性を持っているのかを探っていきます。また、尺八とコンピューター音楽のための委嘱新作も発表予定です。

5、日本の伝統芸能×ストリートダンス

平成 25 年 12 月 14 日(土)／日暮里サニーホール
上妻宏光、DAZZLE、都内高等学校ダンス部

若者間で人気のストリートダンスと日本の伝統芸能を融合させた新たな文化創造となるイベント。

6、公募ワークショップ公演①

平成 25 年 8 月 1 日(木)から平成 25 年 9 月 30 日(月)まで間の 1 日間／会場未定(区部)

7、公募ワークショップ公演②

平成 25 年 12 月 1 日(日)から平成 26 年 1 月 31 日(金)までの間の 1 日間／会場未定(多摩地域)

○共催公演

1、第 14 回多摩川流域郷土芸能フェスティバル

平成 25 年 12 月 1 日(日)／狛江エコルマホール

多摩川への愛着を高めることやふるさと意識の高揚を目的に、多摩川流域に根付いている郷土芸能が一堂に会する公演を行います。

当フェスティバルは、多摩川流域で行われるイベントをスタンプラリーで結ぶ「多摩川イベントラリー」の対象イベントにもなっています。

③ 東京大茶会 2013

1、江戸東京たてももの園

平成 25 年 9 月 28 日(土)、29 日(日)

2、浜離宮恩賜庭園

平成 25 年 10 月 12 日(土)、13 日(日)

茶道に馴染みのない方や海外の方々にお茶の文化とそれを育ててきた江戸・東京の文化を紹介することを目的として大規模な茶会を開催します。江戸東京たてももの園と浜離宮恩賜庭園という風情あふれる会場で、茶席や野点をお楽しみ下さい。

■新規『初心者向けプログラム』企画募集について

- 【応募資格】 法人格を有し、伝統芸能公演等の実施実績がある団体（過去3年間以内）
※事前の指名は行わず、一般公募とします。
- 【決定までの流れ】 応募届を提出した後、企画案等の提出を行い、企画内容についてのプレゼンテーションを行っていただきます。（応募をご検討の方は事前の説明会にご参加ください。）
- 【その他】 企画コンペ実施要領については、下記のホームページからダウンロードできます。
「東京発・伝統WA感動」<http://www.dento-wa.jp>

① 区部実施のワークショップ公演

- 【時期】 平成25年8月1日（木）から平成25年9月30日（月）までの間の1日間（他公演日を除く）
- 【対象】 企画内容により対象が変わる可能性があるため特定しません。
- 【企画】 伝統芸能と関連性のある分野（アニメ、映画など）を1～2つテーマとして取り上げ、これらと伝統芸能の関わりを紹介するとともに、参加者に体験を通じて伝統芸能の魅力を伝える企画とします。「鑑賞」に加え、「体験」の要素を必ず加えた構成とし、解説を交えるなどの工夫により、伝統芸能の魅力を再発見する機会とします。
- 【会場】 上記事象の対象者が気軽に参加できる区部の会場（提案案件、屋外も可）
- 【備考】 伝統芸能に興味・関心を引き付ける「きっかけ」を重視します。

② 多摩地域実施のワークショップ公演

- 【時期】 平成25年12月1日（日）から平成26年1月31日（金）までの間の1日間（他公演日を除く）
- 【対象】 地域の実情に合わせるため、対象は限定しません。
- 【企画】 これまで伝統芸能に関わりのない方を対象に、敷居が高いと思われがちな伝統芸能を気軽に体験し、その魅力を再発見することのできる体験型ワークショップとします。「鑑賞」に加え、「体験」の要素を必ず加えた構成とし、解説を交えるなどの工夫により、伝統芸能の魅力を再発見する機会とします。
- 【会場】 上記の対象者が、気軽に参加できる多摩地域の会場（提案案件、屋外も可）
- 【備考】 地域の文化ホール等の自主企画事業に併せた公演として「多摩地域とのつながり」を重視します。